



まきのほら 市議会だより

第12号

平成20年
11月7日発行



ことしも豊作

9月定例会 会期9月2日(火)～25日(木)

- | | | |
|---------------|-------------|----|
| ○議案を慎重にチェック!! | 定例会概要 …… | 2 |
| ○費用弁償廃止へ!! | 議員発議 …… | 6 |
| ○21年度の財政状況は!! | 一般質問 …… | 14 |
| ○県外視察報告 | 委員会報告 …… | 17 |
| ○平成20年8月子ども議会 | 議会改革検討部会 …… | 19 |

決算 認定される 議員費用弁償廃止へ

定数についての特別委員会立ち上げ!!

平成20年第3回牧之原市議会定例会

会期9月2日から9月25日(24日間)



今回の定例会では、19年度一般会計・各特別会計及び水道事業会計の決算認定をはじめ、20年度一般会計補正予算などの議案が提出されました。
これらの議案は、連合審査会、また、各常任委員会の慎重な審査を経て、原案どおりすべて可決されました。

なお、一般質問は17・18日の2日間行われ、13人が当面する課題について見解をいただきました。

決算

○平成19年度牧之原市一般会計歳入歳出決算の認定について
〔多数認定〕

▼議案に対する討論

《反対討論》

●住宅資金貸付金の未納額が8千万円もあり、依然として収納が進んでいないのは不当である。
(樽林)

《賛成討論》

●学校教育施設の耐震補強事業や、農工両善の振興を始めとして、各面で成果を出した。一刻も早い財政の健全化に、懸命の努力を切望して、認定に賛成する。
(鈴木勇)

○平成19年度牧之原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
〔多数認定〕

▼議案質疑

問 「資格証明書」交付世帯が、平成18年度に比べ急増している。市の対応に問題はないか。

答 個々の事情を考慮して決定している。来年度から乳幼児のいる世帯には交付しない。

▼議案に対する討論

《反対討論》

●「保険証取りあげ」世帯が、昨年度に比べて急増している。弱者の立場に立つての配慮を求める。
(桑田)

《賛成討論》

●歳入における保険税の収納率は、県内市の部で上位にあり、歳出における医療費の一人当たりの金額は、県内市町の平

質疑あれこれ

9月定例会に上程された議案の中から、主な質疑、賛成・反対の討論が繰り広げられたものを、要約してお知らせします。

均額を下回っており、保険者の努力のあとが伺える。
(加藤)

○平成19年度牧之原市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
〔多数認定〕

▼議案質疑

問 介護予防サービスの執行率42・6%である。「家族と同居を理由に一律生活援助サービスを禁止」していないか。

(糸田)

答 抱括支援センターが指導しているので、対応に問題はな
いと考えます。

《反対討論》

●納税者からは天引きする当会計総額30億円のうち、「不用額」を18年度に2億円、19年度に3億円も出すとは、何事ですか。
(樽林)

《賛成討論》

●不用額は、介護サービスの給付実績であり、執行率90・6%は適正範囲と考える。(小杉)

条例の制定

○地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例〔全員可決〕

▼議案質疑

問 ①改正理由の「議会活動の範囲を明確化する」について、議会事務局は、この理由を議長あるいは議運委員長に進言したのか。
②規定を整備する必要を市長は考えているか。また、市長の諮問機関の特別職報酬等審議会にかける考えはあるのか。

(鈴木正)

答 ①会議規則に規定することにより、正規の議会活動と位置づけることを可能にすることができると話しました。
②今回の改正は字句改正のみで、議員の皆さんから依頼があれば諮問します。

○相良町都市計画税条例及び榛原町都市計画税条例を廃止する条例の制定について
〔全員可決〕

▼議案質疑

問 納税者と行政のメリット、デメリットは何か。(鈴木正)
答 納税者のメリットは、公平性が保たれることと税負担の軽減です。またデメリットは全体事業の見直しに少し影響
します。

行政側のメリットは、段階的な税負担軽減で企業進出が促進され、代わる税収効果が期待されます。デメリットは、より吟味した予算配分が必要
となります。



条例の一部改正

○牧之原市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

〔全員可決〕

▼議案質疑

問 市民の財産、地域の安全、安心を守る消防団員の定員を削減すれば、安全なまちづくりに支障はないか。(加藤)

答 分団、地域により格差が生じると共に、市内在住の団員確保に苦勞している事から、計画的に分団の統合と消防団員の適正配置を進める。今後は、各地区と協議して、自主防災会などの協力を経て安全なまちづくりを推進します。

予算

○平成20年度牧之原市一般会計補正予算について〔多数可決〕

▼議案質疑

問 旧教員住宅解体工事(場所

大沢築40年 292.5㎡坪
単価5万2千8百円)工事請負費4百44万5千円は高い。

一般においては半額以下である。精査してもらいたい。

(鈴木千)

答 精査します。

問 市の行う学校給食の一部民間委託業務契約は、偽装請負にあたらないか。(糸田)

答 県内、他市でも行っている。県労働局でも問題はないとのこと、栄養士は委託先にも配置させます。

問 ①空港運営会社への出資金2百万円の必要性・妥当性・正当性はあるのか。

②電算システム改修について、徴収事務において費用が軽減されるシステム作りは無理なのか。

③保育園管理費の報奨金及び食料費の内訳。

④前年度決算の実質収支額は9億1,464万円で、最近5年間では最大であるが適正であるのか。(大石)

答 ①市の応援の一つとして空

港支援の姿勢を明確に示そうというもので、ご理解頂きたい。

②総務省から示されており、市町村が独自の方法で改修することは不可能です。

③保育園のあり方を考える懇談会の、学識経験者2名に対する謝礼22万2千円、ワークショップ開催のためのファシリテーターなどに関する謝礼15万円。民間保育園等への視察研修手土産代6千円。食料費は、保育園のあり方を考える懇談会委員の、先進地視察研修に関する昼食等の費用が1万9千円です。

④実質収支額のことにも視野に入れて、慎重な予算編成に心掛けていきたいと思っております、ご理解頂きたい。

問 ①勝間田保育園職員室棟の耐震診断未実施の理由が同じ園内でありながら、不自然と思いませんか。

②波津大原地区にある旧教員住宅の、解体後の敷地処理はどうなるのか。(鈴木正)

答 ①そう思いますが、7月上

旬に職員室棟が未実施(調査不足での見落とし)と判明し、急遽、単独で耐震診断業務を発注することになりました。

②更地にして土地利用が明確になるまで、そのままにしておきます。

▼議案に対する討論

《反対討論》

●市の行う民間委託業務契約は偽装請負の疑いがあり、各県により解釈の違いもある。国の統一見解を待つべきである。(糸田)

《賛成討論》

●今年度において、どうしても必要な榛原総合病院への融資や開港予定の空港への出資等、市長も充分熟慮しての補正であり、通告質疑のあった教員住宅解体事業費等の工事費の予算額については、再検討することを希望し賛成する。(鷺坂)

*ファシリテーターとは

議論に対して中立な立場で話し合いに参加し、議論をスムーズに合意形成に向け調整する役。

人事案件

○教育委員会の委員に、大石幸雄氏（静波）を任命することに同意した。

○固定資産評価審査委員会委員に、高橋世音氏（福岡）畑 迪子氏（松本）内藤 勉氏（静波）を推薦することに同意した。



その他可決された議案一覧

○平成20年度牧之原市国民健康保険特別会計補正予算について
〔全員可決〕

○平成20年度牧之原市老人保健特別会計補正予算について
〔全員可決〕

○平成20年度牧之原市介護保険特別会計補正予算について
〔全員可決〕

○平成20年度牧之原市土地取得特別会計補正予算について
〔全員可決〕

○平成20年度牧之原市農業集落排水事業特別会計補正予算について
〔全員可決〕

○静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約変更について
〔全員可決〕

○牧之原市営住宅管理条例の一部を改正する条例〔全員可決〕

○牧之原市総合観光センター条例の一部を改正する条例
〔全員可決〕

○平成19年度牧之原市老人保健特別会計歳入歳出の認定について
〔全員可決〕

○平成19年度牧之原市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について
〔全員可決〕

○平成19年度牧之原市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
〔全員可決〕

○平成19年度牧之原市水道事業会計決算の認定について
〔全員可決〕

○平成19年度牧之原市水道事業剰余金の処分について
〔全員可決〕

○字の区域の変更について
〔全員可決〕

○牧之原市議会会議規則の一部を改正する規則〔全員可決〕

議会を傍聴してみませんか!!

市政の動向を知るには、議会を傍聴することが一番です。議員の発言や活動を直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。

傍聴は、事前予約などありません。どなたでも傍聴できますので、ぜひお越し下さい。

議会だより内「市民の声」コーナーにて、皆さんの議会傍聴後のご感想・ご意見を掲載しております。



議員発議

○牧之原市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

〔多数可決〕

可決

賛成17名

反対3名

▼議案に対する討論

《反対討論》

●来年4月1日からの費用弁償の廃止を今決める事より、議員定数の削減を示し、議員自身身を削り大きな経費削減への道筋をつけるべき。(太田)

《賛成討論》

●これまで費用弁償廃止については、議員全員で協議してきました。民間では認められない支出であり、議員特権の一つだ。廃止することが議会改革だ。(大石)

議員発議で費用弁償廃止へ

現在、議員には本会議と委員会へ出席した場合、毎月の報酬とは別に日額2,600円、議会全体では年間350万円が費用弁償として支払われています。

議会改革検討部会や議会運営委員会等で検討され、全員協議会で本年度4月・7月・8月に協議してきました。

4月全員協議会 日額2,600円を議員各々の自宅から庁舎までの距離に合わせた実費弁償にしたらどうか。協議が始まった。(市職員と同様の交通費算出)

7月全員協議会 費用弁償を実費弁償とすることで再度協議した。できることから改革を進めるという賛成意見。すでに過去決定された(現行のまま)費用弁償について再度検討はおかしい。という意見や議員定数、議員報酬を含めた全体のバランスが大切とする反対意見等に分かれた。

この結果11対9で、実費弁償の方向で進んでいった。

なお議員定数については、12月定例会までに検討するという事で確認された。

後日、反対とする議員から、実費弁償とするなら全廃という意見が出された。

8月全員協議会 全廃もありという意見から、今度は実費弁償とするか、全廃するかで協議した。結果、三人の反対者がいたが、廃止とすることで9月定例会に議員発議として提出することになった。反対者からは「9月定例会で自分たちの意思をはっきりさせる」との発言があった。

費用弁償廃止の施行期日を本年10月1日とするか、来年4月1日とするかで協議し、来年4月となった。

今本会議最終日、この議員発議は賛成多数で可決されました。議会改革の一步として、議員自ら公費削減に向けて廃止した費用弁償です。

動議

○議員定数検討特別委員会の設置について

〔多数可決〕

可決

賛成16名

反対4名

▼提案理由

議員定数の適正化は、牧之原市議会に課せられた課題であります。

当議会として、この問題に絞り集中的に取り組み、所期の目的を早期に達するため、議員定数検討特別委員会を設置するものであります。

動議とは・

会議の進行中に、予定議案以外の議題を、議員が口頭または文書で発議し、所定の賛成者があれば成立し、議題となり、議決されるものです。

▼議案質疑

● 我々の議員定数削減案に対して、動議で特別委員会設置案を出してきたことは、「定数16」の反対案であり、これ以下の数字の検討ですか。今までの議論する機会があったのに、なぜしなかったのか。

(鈴木正)

● 答 今後は、特別委員会で議論していきます。

▼議案に対する討論

《反対討論》

● 費用弁償の廃止を本日議決しておきながら、新たに費用弁償が発生する特別委員会の設置は矛盾している。(太田)

● 行財政懇談会および区長会などから、議員定数の削減を求められている。しかし、全く議論されていない。既に周辺他市では議員削減を決定している。早急に結論を出すべきである。(中野)

● 合併後3年が経過するが「議員定数条例」について一度も議論していない。果たして真剣に考えているのか疑問であ

る。議員発議を上程したが、動議が出され議論もなく特別委員会に付託された。本条件についての引き伸ばし作戦であることに外ならない。(増田)

● 近隣市町全てが議員定数を削減し、定数が判明している現状と、区長会からの要望がありながら議論せずにきたことは、定数削減の話題から逃げていたにすぎない。即議決すべき。(鈴木正)

《賛成討論》

● 議員定数のみ検討するのは好ましくないが、唐突に出された定数削減の発議に反対だ。議会機能を高めるための議会改革を、優先すべきである。(大石)

● 削減は、広く住民の意思を反映させるといふ議会の機能を低下させ、ひいては住民の損失となる。特別委員会を設置して充分議論し、議員定数を決めるべきである。(鷲坂)

● 議員定数は、議会の根幹に係わる重要事項。全員参加で、民主的な議論を経て決めるべきである。(糸田)

○牧之原市議会議員の定数を定める条例の提出について

▼提案理由

議会自ら率先して改革を行うその第一歩として、大幅な議員定数の削減が不可欠であると考えます。

地方議会の充実強化とは、議員数が多い方が良いということではなく、議員数が少なくても、議員の位置づけが明確化され、議会の調査機能や政策立案機能を充実強化すれば、市民の付託に應えることが出来るものです。昨今、行政と市民、NPOや企業との連携や協働が進んでいきます。周辺近隣市町がすでに議員定数の削減を決めている中、改選まで1年を切ろうとしても未だに議員定数削減の議論もせず、費用弁償廃止といった小手先の経費削減の条例改正を行おうとしています。

各種団体から大幅な議員定数の削減を求められ、指摘されてからでは遅きに失する。したがって、定数を16人とする改正案を提出します。

否決

賛成4名
反対16名

▼議案に対する討論

《反対討論》

● 定数16案には何の根拠もなく、議会のルールを無視した、常識外れの本案には、反対あるのみ。(榎林)

《賛成討論》

● 反対議員との意見相違は、政治的立場の違いから仕方ない。一刻も早く、議会の決意を明確にするためにも、大幅な定数削減を決めるべきと考える。(太田)

議員発議とは・

議案を議会に提出する権限は原則として市長・議員の両方に与えられています。議員が議案を提出することを「議員発議」と呼んでいます。

特別委員会の設置

一. 委員会の名称

議員定数検討特別委員会

二. 委員会の目的

次の事項に関する調査、研究
(1)議員の定数に関する事項

三. 設置の期間

本特別委員会は、この目的が終了するまで、閉会中においても継続して開催することができる。

四. 委員の定数

二十一人

五. 委員の任期

委員の任期は議員の任期とする。

議員定数について、皆さんのご意見をお寄せ下さい。
現在、牧之原市議会の定数は22です。



動き出した議員定数検討特別委員会

地方分権一括法により、市民に最も身近な市議会には、地方に自己決定・自己責任が付与されています。

そこで、改めて議会の役割・その権限を確認し、市民に期待される議会になることが望まれています。

なかでも、議員定数の適正化は、牧之原市議会に課せられた課題です。

牧之原市議会では、議員定数特別委員会を立ち上げ、この問題に絞り、集中的に協議検討を行い決定していきます。

議員定数検討特別委員会 委員長 加藤祥司

《9月議会 傍聴者の声》

☆初めての傍聴で、市側の説明に理解に苦しむ点が多くありましたが、一市民の立場から、議員さん方の質問に加えて、聞いてみたい事が沢山ありました。次年度に反映させる改善・改革案が、議員さん側から出ても良かったと思います。

☆本会議及び全員協議会も平日だけでなく土日、祭日を利用する時があっても良いと思う。傍聴席にもっと多く来てくれる議会の為にも…

《子ども議会 傍聴者の声》

☆議会のこと、市政のことについて、親子で意識することができ、大変良い会でした。素晴らしい経験をさせていただいたことに、感謝の思いで一杯です。

今後、議会だより等、子どもも意識して見ることができることでしょうし、様々な市の政策に関心を持って意見が言えることと思います。ありがとうございました。

☆子どもの質問に対して、丁寧に答えて下さり、ありがとうございました。

質問内容に合わせて、資料を用意して下さったり、調べた数字を報告して下さることにより、具体的に実況を理解することができました。そして、その問題に対して、市の職員の皆さんが真剣に取り組み、改善しようとしていることがよくわかりました。

子ども達にとっては、視野を広げる、社会に目を向ける大切な機会となりました。

市民の声!!
(議会を傍聴して)



議論に耳を傾ける傍聴者

常任委員会へ付託された議案は、慎重に審査され、その審査の経緯と結果は本会議で各常任委員長が報告し、質疑、討論を経て採決されます。

総務委員会

委員長 太田佳晴

牧之原市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

消防団員の定員を現在の670人から610人に改めるもので、今後の大災害の発生に対処していくのはたして大丈夫なのか、などの質疑が出されましたが、現在、市で行おうとしているのは、各地区の消防団をまとめることにより、強化を進めているので、ご理解をお願いしたいということでした。

付託議案審査

相良町都市計画税条例及び榛原町都市計画税条例を廃止する条例の制定について

合併により生じた旧両町間の不公平感を取り除くために、21年度から都市計画税を廃止するというもので、今



地域で大きな役割をもつ消防団

まで課税徴収されていた2億7千万円の税収が、21年度からは減収となります。税収の落ち込み分を、どのように対処するかとの、多くの質疑が出されましたが、不公平感を無くすためには、このやり方しかなかく、見込める財源の確保や事業の抑制で「なんとかしていくしかない」との、答弁にとどまりました。その後、付託された案件について討論・採決を行いました。討論はなく、すべて原案のとおり可決となりました。

経済建設委員会

委員長 名波富幸

牧之原市総合観光センター条例の一部を改正する条例

観光協会の事務局を産業展示館へ移転する。それに伴い、産業展示館を牧之原市観光センターと位置付ける条例改正です。

質疑では、この施設は指定管理者制度にするのかとの問いに対し、来年度から指定管理者制度を取り入れる。それまでは市の直営との回答でした。現在の観光センターはどのよう

に利用するのかとの質問に、今想定しているのは、相良地区にある労働福祉会館が閉鎖になるため、榛南勤労者共済会事務局を一階に、榛南ライオンズクラブを二階に考えているとの回答でした。この他にも多くの質疑がありました。

牧之原市営住宅管理条例の一部を改正する条例

今までは保証人の条件が市内

居住者でないと認められない。

市には現在、市外や遠方から働きに来ての人が多く、市営住宅入居を断念するケースが出てきた。そのため、保証人の条件を緩和させ、日本国内に住所を有するという形に改めるものです。また、条例12条以降を「規則」を「省令」に改めると説明があった。これに対する質疑はありませんでした。

字の区域の変更

昭和50年度に地籍調査事業を実施した際の事務処理について、地権者から合筆ができないと異議があり、家を建てるに当たっての字の統一を求められた。精査した結果、錯誤が判明した為、字を変更し統一するものです。

質疑では、字の変更はできるのか。の問いに、地方自治法により議会で議決を得れば統一ができるとの回答がありました。

3議案とも討論はなく、採決の結果、全員賛成で可決しました。

ここが聞きたい！！

市政を問う

一般質問とは、議員が執行機関（市や教育委員会など）に対し、一般事務全般にわたっての執行状況や将来の方針などについて、事実の説明を求めたり、または所見をたずさすことをいいます。

牧之原市議会では、1人の質問時間は、質問・答弁含め60分以内。質問方法は、一問一答方式または一括方式が選択できます。

9月定例会では、13人が一般質問に立ちました

各議員の一般質問など、定例会の会議録が、市ホームページでご覧いただけます。

牧之原市の宣伝方法

鷺坂 隆夫 議員

問 富士山静岡空港も開港間近で、所在地が牧之原市に決まったとのこと。

市内運送業者から『大型トラックの後部ドアに、空港開港とお茶に関わる看板を書き全国を走れば、牧之原市の良い宣伝になる。』との提案を貰った。

市では、この提案を取り入れて実践していく気持ちがあるか市長の考えは。

答 商工会を中心とする空港応援団で協力いただける方を募ってもらい、『空港関連推進事業費交付金制度』を有効に活用し空港とお茶の町の宣伝を考えたいきます。



新たな宣伝手法に

情報の格差是正は

問 光ファイバー又はケーブルテレビの導入計画等、情報格差が生じないように、今後の情報化時代をどの様に考えているか。

答 光ファイバーによる超高速ブロードバンドの普及は、牧之原市の一部が民間事業者により整備され24・8%です。

今後、地場産品の販路拡大や防災時の情報伝達手段など幅広い分野で利用できます。平成22年まで静岡県補助制度も利用できるため市内の情報格差是正に、県、関係者と協議を進めながら整備を早急に検討していきます。



樽林 憲樹 議員

有償ボランティア活動と商店街の活性化

問

文教厚生委員会では、ボランティア活動と、地域商店街の活性化を結び付け、成功している「大阪府寝屋川市」を視察した。

本来、ボランティアは無償奉仕が建前だが、ここでは、ボランティアが要した実費を商品券の様な小額の金券『地域通貨』で受け取る仕組みである。誰でも気軽に活動に参加でき、依頼側も、お礼の意味で金券を差し上げることが出来る。

『地域通貨』は、加盟商店で買い物の際、代金の一部として利用するので、商店街も活性化する一石二鳥の仕組みである。市も進んで先進地を視察し学び、ボランティア活動と商店街の活性化を図る事が得策と思うが、どうか。

答

少子高齢化が進展し、多種多様な福祉ニーズへ対応するには、市の既存施策のみでは弱者の不安や不便さを解消するには限度があると思います。

近年、地域コミュニティが希薄化してきたといわれていますが、相互扶助や隣人愛の精神の醸成を高めるためにも、民生委員やボランティアの皆様の力をお借りしなければならぬと考えます。

市では本年度、地域で支え合う、ネットワークを深めるため地域福祉計画の策定に取り組みでいますので、牧之原市らしい弱者救済対策のネットワーク化を図れるよう調査、研究を重ねて、計画の具現化に努めていきたいと考えています。



『地域通貨』を使って商品を購入

中野 康子 議員

同報無線の難聴地域の解消

問

新幹線の通過する地域などで同報無線が聞き取り難い地域がある。難聴地域の解消に向けて、どう取り組む考えか。

答

難聴地域は旧榛原町に8地区あり、また、同報無線の親機は設置してから年月が経過し、再整備する時期に来ています。

しかし、合併後の周波数は一市一波、デジタル化が基本であり、中継基地の増設などの整備に多額の経費が掛かります。デジタル化への検討を進めながら、著しい難聴地域には、子局の増設や防災ラジオの普及整備を進めていきます。

安全・安心なまちづくり

問

牧之原地域には、旧大井海軍航空隊があった。大規模

な土地利用、開発行為がなされたが、排水や流末処理施設は十分に整備されていなかった。加えて、インターチェンジの開設による工場立地など地域開発の進展は著しく、排水施設不足による山の荒廃が進んでいる。牧之原地域の排水、治山、治水対策は。

答

旧榛原町区域の用排水整備区域は広範囲であり、旧大井海軍航空隊の排水溝を現在も利用していますが、今後は計画的に整備を進めていきます。

また、急峻な地形が多く、急傾斜地崩壊危険箇所となっています。災害の未然防止のため、毎年、県と市が治山・保安林パトロールを行っています。県と連携しながら崩壊防止対策を進めていきます。



大井海軍航空隊の記念碑

田村 兼夫 議員

在住外国人に より深い配慮を

問 かねて主張してきたが、まだまだ外国人への配慮が不足している。同報無線による放送は極めて聞き難い。日本語の放送の後に、ポルトガル語の放送を願う声に、どのように対処するのか。

答 また、外国人との交流を深めるには、いろいろな行事へ参加してもらう必要がある。そのため、外国人の多い地域では、身近な回覧板に外国語訳をつけるべきではないか。

答 同報無線、外国語訳については、地域の実体を把握するのが第一と考えます。そのために、地区長会や区長会とよく協議して対処していきます。



文化財のポスター

市指定文化財の 保護策を問う

問 仏像の盗難が相次いでいる。市指定の文化財の管理状況を問う。

答 勝間下、仁田で盗難が発生しました。市でも部長等の連絡会議で、職員に対して地元の方に十分注意して下さいと伝えるように頼みました。

答 また、指定文化財の所有者にも注意するように、また必要があれば、対策を講ずるように通知しました。地区内で管理している場合は、区長宛に注意の依頼通知を出しました。将来は、万一の時を考え、また市民に文化財に親しんでいたくために、すべて写真撮影して解説を付け、本にして市内の図書館、学校など各所に置くようにしたいと考えています。

名波 富幸 議員

富士山静岡空港の 活用は (私の一番機)

問 空港の開港を半年後に控えて、当局的考えは。①茶の流通拠点構想の進捗は。②私の一番機旅行パックは、どのように具体化していくのか。

答 ①流通拠点構想は茶業関係者の理解が不可欠であり、本年度は茶業関係者への構想的説明と、ご意見を頂くことに努めています。全国

茶サミットでも、参加した皆様方の意見を伺い構想に反映していきます。

②私の一番機旅行パックは市民の要望、意見が反映した商品になるよう、商工会・観光協会・体育協会・文化協会と市内の旅行業者で構成する「私の一番機旅行パック造成作業部会」を立ちあげて作業を始めています。



新たに設置された収納推進室(榛原庁舎)

市税の滞納整理は 進んだか

問 収納推進室ができ、どの程度の収納率向上が見込めるか。また、地方税滞納整理機構に移管した件数、金額、徴収実績は。

答 徴収率向上対策は毎月の計画に従って行っており、収納率は7月末現在12%で、前年度より約2倍に上昇しています。滞納整理機構への移管件数は15件、4,781万9千円、機構による徴収額は、1,356万2千円で、389万6千円の納付約束がとれました。今後、時効の中断を図りながら不納欠損を抑える努力をしていきます。

中山 香議員

市の地上デジタル 対応に疑問

問 現在、市内にある共聴受信施設の内、13施設を中部電力が維持管理を行なっている。

この地域は、難視聴地域のため各地区、各部落独自で資金を出し合い共聴組合を設立して、テレビ受信施設を整備し運営していた。

その後、この地域に高圧送電線が横切り電波障害が起きた。そのため原因となる中部電力が、各共聴組合と協議し覚書を交わし現在のスタイルになっている。覚書には、「第9条 この覚書に定めていない事項または解釈上生じた疑義については、その都度甲乙協議して処理する。」となっている。

今年一月と八月の相良地区区長会で、中部電力側からの2011年アナログ放送終了後、管理下の共聴受信施設の管理を終

了するとの報告がされた。

中部電力と協議をして、覚書まで交わしているのは各共聴組合である。共聴組合に協議も報告もなく、先にまったく別な組織の区長会で報告をしているのは、何かおかしくないですか。なぜ、このような行動を市が行なったのか、市の考えを伺う。

答 区長会では、各共聴組合の代表を確認する程度のもので、管理撤退の協議ではなく報告でした。

中部電力管理下の各共聴組合と中部電力が協議をするもので、行政が介入すべきではないと考えていますのでご理解下さい。



地域を横切る高圧線

桑田 幸一議員

乳幼児（子ども）の 医療費助成制度の拡充を

子どもの医療費無料化の拡充は、全国各地で取組みが進んでいる。県内でも、静岡、浜松、焼津、藤枝、島田、吉田、大井川、岡部など、対象年令を小学6年生、さらには中学卒業までと広げている。

問 子ども医療費補助を、中学卒業までの全ての子どもに拡充する

考えはないか。また、拡充した場合の想定額は。

答 総額9千3百万円の予算が、新たに必要となります。保育園の民営化により、予算の効率的な運用を図り、全ての児童生徒が等しく恩恵を受けられる医療費助成制度に向けて、公平、平等の原則からも必要です。保育園の民営化と一体的に考えていきます。

雇用促進住宅 入居者の支援対策を

「雇用促進住宅」を廃止する動きが始まり、そこで暮らす住民の間に不安が広がっている。

国の一方的な方針で全面廃止、譲渡を閣議決定した事に対し、怒りが高まっている。

問 入居者、住民から陳情書が届けられているが。

答 大変重く受けとめ9月11日付で、「雇用能力開発機構」に入居者に十分な配慮を求める趣旨の要望書を提出しました。今後、入居者の皆さんが困らない様に配慮していきます。

問 市の公営住宅政策と、今後の計画はどうか。

答 整備計画では35戸を建替え、借上げ型住宅として整備していきます。

問 国は、地方自治体に譲渡することも考えているが。

答 旧相良町当時から、公営住宅として利用しない方針を国に対して伝えていきます。

鈴木 正樹 議員

問 市長の考えは如何か。

答 ふるさと納税には、三つの意義があります。

- 一、納税者が自分の意思で納税対象を選択できる道を開き、納税の大切さの認識ができる。
- 二、故郷の大切さの再認識。
- 三、自治体間競争が刺激され、自治意識を進化させる。

8月末現在、3人の方から18万円を頂いています。

問 HPでの目立つPRをすべきだが。

答 空の玄関口として魅力ある住みやすいまちにするため、全国から善意、厚意で支援していただくよう今後工夫していきたいと考えます。

問 旧町出身者へのアピールを、積極的に行うべきだが。

答 私も積極的に行うべきと思います。6月に榛高同窓会関東支部総会で、チラシを配布しました。東京交流会等、機会ある毎に配布し、PRしていきたいと思えます。

問 寄付金を他の財源と区別して管理運用し、年1回運用状況をHPで公表すべきと考えらる。又、基本条例の考えはあるか。

答 条例の創設は年間に数百万円ということであれば、検討する必要があるかと思えます。使途については、本人に連絡すると共に、HP等でお知らせしたいと思えます。

問 ふるさと納税の特典や、優待店の募集による地域活性化の考えはないか。

答 牧之原市の魅力を全国に発信する中で、一人でも多くの市出身者にふるさと牧之原市を大切に思ってもらえるよう、PRしていくことが大切だと思います。

加藤 祥司 議員

問 19年度決算を基にした財政健全化比率では、基準以下であると公表されているが、最近の経済情勢から推測すると、市民の経済活動も停滞気味で市税も多くを望めない。

地方交付税の減額も、予測される中での予算編成の方針、また市民が元気になるように、市内の中小企業をはじめ、農漁業にたいする思い切った施策を打ち出す考えは。

答 静岡財務事務所が7月に発表した県の経済情勢では、「県内経済は、回復の動きがやや弱まっている。」と発表されており、海外経済及び為替動向や原材料価格高騰の影響について注視する必要があると分析されていることから、市内企業の業績を心配しています。

市財源の根幹である市税の21年度の見込みについては、詳細の見積りはこれからですが、85億円前後と想定しています。

また、進出企業の投資額が未確定のため、算定が難しい状況です。その他各種交付金等前年度と同額程度とした場合、一般財源全体では前年度より8億円余の減額となり、115億円程度と想定して予算編成することになります。

また、私の施策方針は、緊急的措置は別として、総合計画に基づく「戦略プラン」を着実に実施することが大原則であると考えています。さらに、事業遂行にあたっては、なるべく有利な補助制度を模索し、市民との協働で企画、戦略を考えて実施を進めていく考えです。

21年度の予算編成に向けた財政状況は

静岡財務事務所が7月に発表した県の経済情勢では、「県内経済は、回復の動きがやや弱まっている。」と発表されており、海外経済及び為替動向や原材料価格高騰の影響について注視する必要があると分析されていることから、市内企業の業績を心配しています。



小堤山公園からの展望

大石 和央 議員

障害者計画は達成されるか

問

市の障害者計画や障害福祉計画は、どのような体制で、どんな協議がなされているのか。

答

市の障害者自立支援ネットワークを立ち上げ、8月26日に第1回

全体会を開催しました。委員は、相談支援事業者、サービス提供事業所、保健・医療等、また障害者団体の代表者等です。

今後はさまざまな相談や問題、計画の見直しについて協議し、各委員の意見を取りまとめて、年度末の第2回全体会に諮っていく予定です。

問

「福祉マップ」や「バリアフリー啓発パンフ」作成は、現時点での予定はないが、今からできることから始めたほうがよいのではないか。

答

これからは、支援ネットワークで検討し、できるだけ早く作成したいと考えています。

保育園の

民営化に疑問

問

民営化について、保護者や関係者の心配や不安をどう把握し、どのように解消するのか。

答

「市の民営化の方針」そのものを検討する意味で懇談会を立ち上げ、ご意見を伺っているところです。保護者や地域の代表、学識経験者などにご参加をいただき、民営化だけにこだわらず、広範なご意見をホームページなどでも公表しています。

今後、さまざまな角度で広範で深い議論をしていただいた上で、市全体、市民全体の意見を総括して判断したいと考えます。



園舎完成イメージ図

笠原 恒彦 議員

牧之原市の財政

問

今議会に都市計画税の廃止が上程されたが、年に2億7千万円の減税とあるが対応はあるのか。

答

また、本年度からふるさと納税が施行されたが本市ではどのような施策をとっているのか。減税分は、大手企業の進出や静岡空港等の税收増で対応していきます。ふるさと納税については施行されたばかりなので、今後の推移を見て対応していきます。



操業が始まったスズキ(株)4輪車組み立て工場

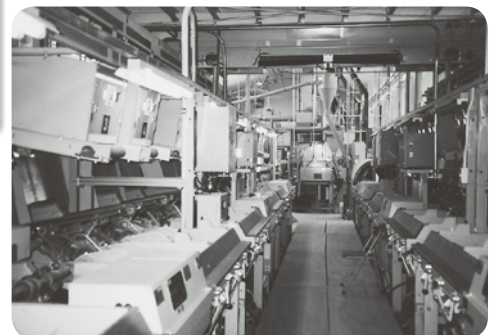
農業経営、茶農業者の支援策は

問

近年、茶価の低下による茶生産者の経営状況は誠に厳しく、将来の見通しがないと言われていいる。お茶は市の経済だけでなく、環境にも市民生活にも大きな影響があると思うが、具体的な支援策を考えているのか。

答

本年度から三年計画で農地の集積、機械化、栽培技術等の研究開発するため、「静岡牧之原茶規模拡大推進協議会」を8月に設置し、検討を進めていきます。



近代化された茶工場

太田 佳晴 議員

来年度の予算 編成に向けて

問 ①現在の補助金のあり方について、どのような考え方で見直しを進めているのか。また、次のような補助金についてはどのような考えでいるのか。

市民参加のイベントや公民館活動に対して・お茶の振興（苗木の補助）について・環境問題・地震対策に関する取り組みなど
②ススキの車両組み立て工場の稼働に伴い、萩間地区はもとより市全体で、通行量の大幅な増加が予想される。今後、道路整備等の環境整備に係わる事業費に重点を置く必要性が年々増すと思われるが、どのように考えてゆくのか。

答 ①補助金全体の見直しについては、各室で考え方を整理して、行政改革懇談会と協議を進めています。見直しの方針が決まったものから、出来る限り来年度予算に反映します。イベントについては、市の活

性化やPRにつながるもの、どのように市が係わるべきか調査、検討中です。

公民館活動については、現在進めている見直し作業の中で、引き続き同様の支援を図っていきたく考えています。

茶園改植に関する要望やご意見は、茶生産農家からも聞いていますので、十分な検討、協議を行っていきます。

環境施策については、国の方針を踏まえ検討していきます。

地震対策については、更なる啓発活動を行っていきます。

②道路事業についても、重点事業として次年度の柱として予算編成に臨みます。



苗木補助率のかさ上げを

本杉 光雄 議員

牧之原畑総土地改良区の実施事業で市の対応は

問 畑総の農業用水施設を利用して、一部工業用水の送水が平成20年から始まった。更に「地域を守る水」として、災害時の非常用水として使用できる協定書の内容とは。

答 地域住民や消防機関が参画した農水施設の管理体制を構築し、地震や火災などの災害時に農業用水

を使用する事を目的に、施設を管理している畑総改良区と市、関係消防機関、及び地区用水組合が協定を締結するものです。すでに島田地区、浜岡・御前崎地区で協定締結されていますが、牧之原市については畑総土地改良区が主体となって、本年度から協議を進めていきます。

問 畑総道路事業も計画変更、事業終了の同意を19年度に

求めたが、地権者の同意も生かされず打ち切られた路線や、未完成のまま事業終了した路線等について今後、市の対応は。

答 農道に関しては、榛原地区で継続となっている幹線農道2路線、支線農道5路線、及び地元同意が得られている未施工支線農道3路線について、整備の必要性や重要性、道路整備事業費などを考慮して、市が主体となって整備していきます。

このうち、幹線農道2路線については、今後10年間の市の整備目標を示した「牧之原市道路整備プログラム」において、整備対象路線として位置付けています。



打ち切られた畑総道路

環境問題と

地域防災を学ぶ

総務委員長 太田佳晴

総務委員会では、7月1日から3日まで、「環境を考えた新エネルギーについて」、「地域防災について（阪神淡路大震災をふまえて）」という目的で、兵庫県への視察研修を行いました。

初日は、まず淡路島に渡り、洲本市役所五色庁舎で、環境問題への取り組みのために、バイオマスタウン構想の説明を聞きました。

視察報告

このまちで行っている、「菜の花エコプロジェクト」とは、まず菜の花を植えて地域の景観を美しく保ち、次に観賞の済んだ菜の花からナタネ油を搾油して、市民が調理用を使用する。そして、使った後の廃油を回収して、こんど

はディーゼルエンジン用の燃料を作り、公用車を走らせるといふものです。

この取り組みは、環境問題を市民と行政が共に共有することができて、先進的な事例だと感心しました。

また、このまちは、あの有名な作詞家の阿久悠さんの出身地だということを知り、たいへん親近感も覚えました。

このあと、阪神淡路大震災の震源地と言われている、淡路市にある北淡震災公園をたずねて、震災によって現れた野鳥断層の保存ゾーンを視察、語り部から当時の生々しい体験談を聞きました。命を守る大切さを、改めて実感させられたお話でした。

翌日は午前中、神戸市の阪神淡路大震災記念「人と防災未来センター」を視察しました。

震災体験フロアでは、地震発生時の各地区における破壊の凄まじさを、大型映像と音響で体感しました。映画の特撮シーンで怪獣などに町並みが破壊されるシーンがよくあるが、まさにそれと同じような光景で、大地震の破壊力を目の当たりにする



菜の花エコプロジェクトで

貴重な体験でした。

そして、午後からは、神戸市の長田区役所での研修を行いました。

ここは、震災時に火災現場の惨状がテレビの画面から何度も映し出されていた地域で、実際に区民の三分の一の三万五千人の住民が避難所に避難し、区域の約26%が焼失するという、大惨事に遭われました。

このような、大変な経験をされた区の職員から、「いざ大災害が起きたとき、行政に頼ることとはほとんどできないと思っただけで、頼るのとは違って、日頃から、行政に頼るのではなくて、市民が、自分たちがすべきことをはつき



神戸市長田区役所で

りと認識して、自立した地域のコミュニティを確立しておくことが大切だ。」ということを知り、貴重な体験者から学ぶことは多いことを知らされました。

最終日の研修地は、バイオマスタウン構想の先進地である加西市です。このまちでも、廃食油の再利用を、税金を投入しない民間共同事業体という仕組みを実施済みでした。

環境先進市と呼ばれるまちは、新しい発想でさまざまな挑戦がすでに始まっていることを実感しました。

今回の研修成果が、充分発揮できるように総務委員会として頑張りたいと思います。

有償ボランティア (地域通貨げんき)

文教厚生委員長 鷺坂隆夫

7月8日から10日まで、大阪府寝屋川市の地域通貨「げんき」を視察した。

地域通貨「げんき」とは、住民同士がお互いに助け合う行為を、地域独自の紙券「通貨」に置き換えて、これをサービスやモノと交換して循環させるシステムのことです。

地域通貨には、金銭でやり取りのしにくい「見守り」や「声かけ」といったコミュニティには欠かせない活動などに対して、目に見える形で「ありがとう」の気持ちを伝え、やり取りする機能です。

こうしたやり取りが地域内で活発化することにより、住民のコミュニティ活動への参加の



ディサービス施設で現状を聞く

きっかけや、住民同士のふれあう機会が増え、地域の課題を地域で解決していこうという、コミュニティのポテンシャルをさらに高めることにつながるものです。

牧之原市でも、市民と地域のつながりを深め、自分が「できること」、「してほしいこと」を登録することで、サービスのやり取りを行い、住民同士の交流、相互扶助や仲間づくりを通じたコミュニティの活性化を図るとともに、現在ではボランティア等は無償でやるものと考えがちですが、地域支援ボランティア制度を立ち上げ、在宅介護も取り入れた介護保険制度にポイント制を取り入れることはできないかと感じました。

寝屋川市の具体的な有償ボランティアの内容

▲家事支援

話相手・買い物・掃除・洗濯・簡単な庭木の剪定・草取り・出産後の家事手伝い・食事づくり・簡単な家具の移動・お墓参りのお供・お墓掃除・日曜大工など

▲介助

散歩のお手伝い・入院中の食事の介助・通院の付き添い・障害を持つ方への簡単な介助など

▲子育て支援

保育園・学校への送り迎えなどの各種支援・一時保育など

▲利用時間

相談に応じ、随時対応している。



実際に、寝屋川市アーケード内を現地視察

いろいろな支援を、その場で清算し、肩の凝らない制度として、又、地域の商店の協力で地域通貨として買い物等が出来るシステムで、地域の商店街の活性化も同時に期待できる良い制度であった。

子ども議会が残してくれたもの

議会改革検討部会 太田佳晴

議会と市民との関わりを深めるために、市内全10校の小学校から2名ずつの子ども議員、また議長については旧相良・榛原学区からそれぞれ1名を選出して、合計22名の子ども議員で「8月子ども議会」の開催がされました。

まず、どのような形式で子ども議会を開くかというところでしたが、子どもたちの視点から見た、それぞれの地域での課題を、一般質問形式で行政側に問いかけて、市長はじめ行政側に答弁をしてもらおうということになり準備を進め、いよいよ、本番当日を迎えました。子ども議員、市長はじめ行政側も全員席に着き、傍聴席も満席となり、いよいよ「平成20年8月子ども議会」の開会の時間となりました。相良小の藤田一克議

長の「皆さんご起立をお願いします。お互いに、挨拶をしたいと思います。おはようございます。」の元気な声が議場に響きわたり、子ども議会が始まりました。

全員の自己紹介が終わり、相良小の鈴木航太議員から、通告通りに一般質問のスタートです。各議員の質問に対して市長・副市長・教育長・各部長が、丁寧に分かりやすく答弁をしてくれました。おそらく、いつもの答弁とは違う意味で気を使ってくれたものと思います。

順調に進み、10人の議員の質問が終了したところで、休憩時間を取り後半の開始となりました。

後半は、川崎小の鈴木明波議長に交代となりました。鈴木議長は、牧之原市議会初めての女性議長です。

後半の質問者も10人が終了して、勝間田小の櫻井亮議員による「牧之原市子ども宣言(案)」発表の発言の予定になりました。ここでちょうどお昼となり、チャイムが鳴る時間になるために、予定にはありませんでした

が、暫時休憩時間をとって、櫻井議員の発言を一時控えてもらいました。この対応も鈴木議長は落ち着いて処理し、その後子ども宣言も採択して、無事子ども議会は閉会となりました。

議会改革の一環として行った子ども議会でしたが、どのような成果が残ったのでしょうか。

子どもたちからは、分かりやすく丁寧に質問に答えてくれて、牧之原市のいろいろなことを知ることができた。議会を身近に感じる事ができて、とても良

い経験になった。などの、とても勉強になったとの多くの感想をいただきました。

また、傍聴者のご意見からも、議会や市政のことについて親子で意識できて、大変良い会でした。素晴らしい経験をさせていただいたことに感謝の思い一杯です。などの有り難いご意見をいただきました。しかし、一方では、もう少し時間を短くしたほうが良いなどの、改善を望むご意見もいただきました。

おおむね、子どもたちや傍聴者の方からは、開催して良かったとの気持ちも伝わった。ご意見が多かったように思いましたので、市民と議会との関わりを深めるという目的は、ある程度達成されたように思います。しかし、議会の内部からは、教育に対する政治の関わり方の指摘もありましたので、今後については慎重に対応すべきと感じました。



緊張いっぱいの小さな議員たち



文教厚生委員会が
小学校体育館耐震工事の現場を視察



「住みよい社会」をテーマに、
議会議員研修会



経済建設委員会
市単独補助事業を現地調査

12月定例会の日程

- 2日(火) 提案説明
- 10日(水) 本会議
- 17日(水)・18日(木) 一般質問
- 19日(金) 一般質問予備日
- 22日(月) 最終日

相良庁舎4階議場 9:00～

詳しいことは 議会事務局
電話 53-2650へ

暑い夏も過ぎて、秋の気配も深まり、市内の小・中学校は運動会や体育祭が、地域ではスポーツ大会や秋祭りなど地域コミュニティを盛り上げる場が次々と開催される季節となりました。ある雑誌の記事に、こんな事が載っていました。それは、人の心の表情を表現する体の部分は「顔」だけでなく、「手」も表現すると述べていました。「手」は、喜びのときは指は大きく開き、伸び、怒りのときは拳を作り、哀しみのときはだらんと下ったり、腰に力なく伸ばされる。このことを思い出しながら、ある小学校の運動会を観ると、同じような行動を示すものと納得しました。さて、地域や家庭の中では言葉と表情で、その表現しているのが現状ではないでしょうか。言葉で表せない深い意味合いを持つ「手」の行為を、十分に活用したいと思いました。



編集後記



議会広報特別委員会

委員長
副委員長
委員

大鐘 俊英
中山 香
加藤 祥司
大関 住男
本杉 光雄
松浦 毅

牧之原市議会定例会（一般質問等）については、ホームページに掲載されています。

〒421-0592 牧之原市相良275番地 電話0548 (53) 2650 FAX 0548 (52) 1116

牧之原市ホームページ <http://www.city.makinohara.shizuoka.jp> 市議会メールアドレス gikai@city.makinohara.shizuoka.jp

「まきのはら市議会だより」は再生紙を使用しています。